

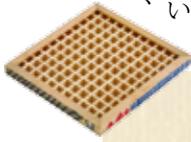
木都と呼ばれた島田。木との共存方法を広めていく――

親方（父）と共に建具店を営む伊藤昌弘さんは「木のまち島田」復活のため、親子参加型のコースター作り教室を開き、伝統的な技法と併せて「木の温もり」を伝えます。

【コースター作り教室】

伊藤さんが「木のいい香りがしませんか」と言いながら、教室に参加した親子に配ったのは、網にカンナ屑を入れただけのもの。それを手にして笑顔になった親子たちに「木の良さを知るには、これが一番です。温もりと一緒に香りも楽しんでください」と、優しく語りかけます。

多くの人に木と親しんでもらうため、伊藤さんは仕事先で子どもたちに、カンナ屑やコースターを配り始めたそうです。そして、コースターをもらった子が「自分で作ってみたい」と言い出したことが、この教室を始めるきっかけ



木製コースター

けとなりました。

「幼い頃、私も親方に簡単な木工を教えてもらい、木が好きになりました。このコースターは、簡単だけど仕上がりが良く、どの子も喜んでく

した。「親方の話では、市内には多くの木工の職人がいたそうです。最近の後継ぎ不足で、商いをたたんでしまう店や工場が後を絶ちません。昔の職人は、何人もの弟子を抱



伊藤建具店
伊藤 昌弘さん（東町）

れます」と、伊藤さんは笑顔で話します。

【木のまち島田】
大井川流域は、かつて林業・製紙業・木工業などが盛んで

えていたそうですが、今の若い人の目には、魅力的な仕事に映らないのでしょうか。このままでは、木と共に歩んできた歴史が、途絶えるかもし

伊藤さんは「木のまち島田」を復活させるためには、木が持つ魅力を、分かりやすく広めることが大切だと考えます。「木工は、誰でもできます。木製のプレセントや生活に役立つ物は、日曜大工で簡単に作れます。各家庭の日常で、木に触れる機会が増えることこそ、木のまち島田を復活させる第一歩になるんじゃないかと思っています」

【職人としての夢】

伊藤さんには、職人仲間と木工の作品展を開く夢があります。展示会では、高い技術を生かした作品のほか、目にした人が作ってみたいと思えるような、簡単に身近な作品も紹介したいそうです。

「今は、完成品に付加価値も求められる時代です。木で何が作れて、どうやって作るのか。そんな木の可能性を見本となって教えることも必要です。多くの人に、木の温もりと、自分で作る面白さや達成感を味わってもらいたいです」と、目を輝かせて語ってくれました。



■親子コースター作り教室

◎伊藤建具店 ☎ 34-3428

とき／3月23日(土)

午前10時から(1時間程度)

ところ／プラザおおり

対象／小学生以下(15組)

申込期限／3月15日(金)まで

Shimadian File #33

